

環境省主催

令和4年度

自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業

インバウンド研修 参加のご案内

研修期間:2022年6月23日(木)~7月6日(水)

このたびはインバウンド研修にご参加いただき、誠にありがとうございます。自習期間（講義動画（YouTube））の視聴と、オンライン集合日及び個別カウンセリングの参加方法についてご案内いたします。チーム間で共有し、お目通しくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

1. 参加にあたってのお願い	2
2. インバウンド研修会の全体像とカリキュラム	3
3. 研修の全体スケジュール	3
4. 自習期間（1）6月23日（木）～26日（日）	4
5. オンライン集合日（1）6月27日（月）	6
6. 自習期間（2）6月28日（火）～7月5日（火）	8
7. オンライン集合日（2）7月6日（水）の参加について	10
8. 感想やフィードバック、アンケートの記入について	12
9. フォローアップの実施について	13
10. 講師プロフィール	14
11. 参加者自己紹介シート（まだの方は、お早めにご提出してください）	17

1. 参加にあたってのお願い

1) 通信環境の設定

YouTube の視聴と Zoom を利用できる機器（パソコン、タブレットなど）をご用意ください。オンライン集合日は、有線 LAN や WiFi など十分な通信速度が保てる環境でご参加ください。また、機器にはカメラ・マイクを接続して、または内蔵しているものをご用意ください。

※チームのメンバーは、原則一か所に集合し、1 台の機器で参加してください。難しい場合は、事前に事務局へご連絡ください。

※研修で使用する端末（PC 等）に、Zoom のソフトウェア（ミーティング用 Zoom クライアント）を事前に（最新バージョン：5.10.4 以上）インストールしていただく必要がございます。事前に、当日利用する端末から、Zoom の URL にアクセスいただき、案内に従ってインストールお済ませ下さい。（最大で 15 分ほど要します）

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

2) 事前課題の提出

提出期限（「訪日外国人観光客に紹介したいと思う地域の資源、または訪日外国人観光客に興味を持ってもらえると思う地域の資源」）は 6 月 21 日（火）です。提出がまだの方は、お早めにご対応願います。事前課題は、6 月 27 日（月）に開催するオンライン集合日（1）「実習 1：地域の資源紹介」で発表してもらいます。発表時間は 10 分/地域です。その後、質疑の時間を 5 分設けます。発表する課題は 3 つでも、1 つを集中して取り上げて結構です。

3) 参加地域一覧とチーム名（Zoom で表記）

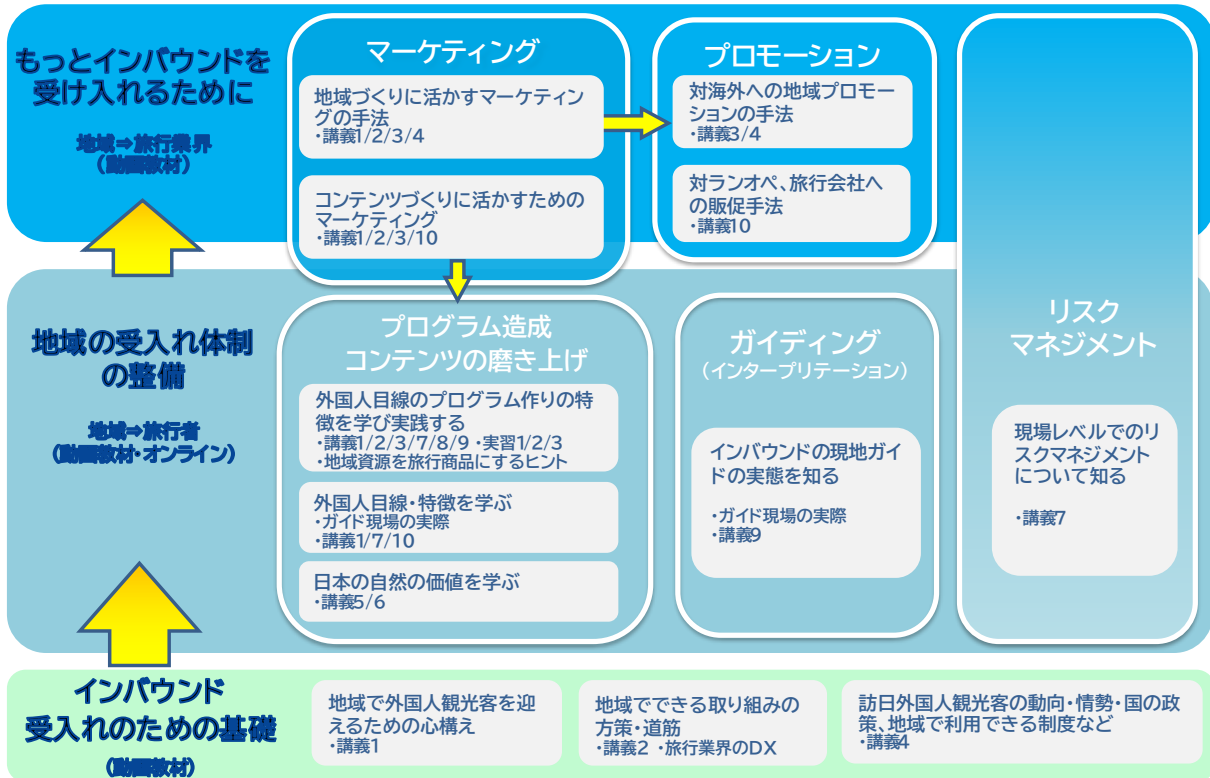
	参加地域（集合研修の参加年度、A/B コース）	Zoom で表記する チーム名
1	七飯大沼国際観光コンベンション協会（OEP プロジェクト） （R2、A）	1. ななえ
2	岩手県大槌町（R3、B）	2. おおつち
3	山形県飯豊町（R3、B）	3. いいで
4	上越市くわどり市民の森（R3、A）	4. じょうえつ
5	（一社）地域商社あきおおた（H30、B）	5. あきおおた
6	地球のかけら HIRAODAI（R3、B）	6. ひらおだい

Zoom 入室の際は、表示名を【Zoom で表記するチーム名】に変更してください。

2. インバウンド研修の全体像とカリキュラム

環境省 インバウンド研修会の全体像とカリキュラム

獲得目標:「インバウンドを受け入れるための準備が地域で始められるようになる」



3. 研修の全体スケジュール

日程	内容
6月23日(木)～6月26日(日)	自習期間(1)「動画教材(YouTube)」視聴
6月27日(月)	オンライン集合日(1)
6月28日(火)～7月5日(火)	自習期間(2)「動画教材(YouTube)」視聴 うち、6月29日(水)～6月30日(木)は個別 カウンセリング期間 チームで課題に取り組む期間
7月6日(水)	オンライン集合日(2)

4. 自習期間（1）6月23日（木）～26日（日）

自習期間（1）の講義動画は、下記のプレイリストからご覧いただけます。期間中に下記の動画を順番にご覧ください。

1) 令和4年度環境省インバウンド研修講義動画（1）プレイリスト

<https://youtube.com/playlist?list=>

2) 講義動画についてのご質問、ご不明な点がありましたら、6月25日（土）までに、「質問フォーム」からご質問をお寄せください。

質問フォーム <https://forms.gle/>

3) 各講義のPDF資料は下記からダウンロードいただけます。講義視聴時の参考として印刷等していただき適宜ご参照ください。なお、資料は配付用のため、講義のスライドと一部内容が異なる場合がございます。

<https://drive.google.com/drive/>

自習期間（１）講義動画一覧

所要時間	講義	内容	講師
約 14 分	開会式／オリエンテーション	主催者あいさつ・研修会全体の構成と実施方法の確認など	主催者、事務局
約 43 分	導入 1：ガイド現場の実際	訪日外国人観光客の旅のスタイルを知り、実際に行われるガイドの様子を見ます。インバウンドツアーに求められる外国語スキル、内容、姿勢を講師の経験から学びます。	古屋 絢子
約 13 分	導入 2：観光における DX	新型コロナウイルスの感染拡大により観光分野の DX（デジタルトランスフォーメーション）が進みました。ガイドの視点から、DX の基礎知識と注目の取組を紹介します。	古屋 絢子
約 20 分	講義 1：訪日旅行者視点からの地域体験商品づくり	地域でインバウンド受け入れを行う意義、旅の目的、訪日観光客が期待するものにマッチングしたものを提供するための考え方を紹介します。	府川 尚弘
約 19 分	講義 2：コンテンツの理解とマーケティング戦略の考え方	コンテンツという言葉の整理と考え方を理解し、地域が商品を作り上げるために必要な戦略の立て方を学びます。	府川 尚弘
約 25 分	講義 3：訪日旅行市場で「売れる」地域マーケティングの仕組み	旅行者の認知の流れと、地域で売ることができる状態の商品が流通し、販売網に乗るまでの一連の流れを理解します。	府川 尚弘
約 31 分	講義 4：現在の世界の状況を踏まえた、旅行者の誘致戦略を知る	国ごとのニーズの違い、現在のトレンド、日本政府としての戦略（グローバルキャンペーン、自然コンテンツの扱い）等	日本政府観光局（JNTO） 大谷 政勝
約 31 分	講義 5：日本の価値を学ぶ-1 外国人向けガイドの実際事例紹介	日本の価値を学ぶ-1 世界における日本の自然、文化、食等の価値を解説／知床の事例紹介	松田 光輝
約 35 分	講義 6：日本の価値を学ぶ-2	外国人に人気の動物・自然、外国人に刺さらない動物・自然など	横山 隆一
約 16 分	講義 7：リスクマネジメント	インバウンドツアーで発生するトラブルの実例をもとに、その原因と、対応策を解説します。リスクマネジメントの視点から、ガイド・企画者が備えておくべきことにも触れます。	古屋 絢子
約 23 分	講義 8：ツアーの様々な工夫	インバウンドツアー参加者の満足度を上げるためのヒントを紹介します。	古屋 絢子

5. オンライン集合日（1）6月27日（月）

9:30 から開始いたします。当日は、下記の URL からアクセスください。
（会議会場には開始 15 分前の 9:15 からご入場可能です。）

会場 URL :

トピック：インバウンド研修：オンライン集合日（1）

<https://us02web.zoom.us/>

ミーティング ID:

実習 1：地域の資源紹介（発表）について

各地域から、事前課題を発表します。

参加地域のダウンロード先は、こちらです。

<https://drive.google.com/drive/folders/>

オンライン集合日（1）

時刻	所要時間	科目	内容	担当
9:15	0:15	受付開始		
9:30	0:45	オリエンテーション	主催者あいさつ、 講師、各チームの自己紹介 研修会全体と実施方法の確認 コンテンツガイドラインの解説 (主催者)	事務局
10:15	1:40	実習1：地域の資源紹介（発表）	資源名・資源概要・外国の方に 紹介したい・興味を持ってもら えると思った理由等。講師より フィードバックがあります。 各チームの持ち時間：15分（発 表10分、講師のコメント5分）	野口 貴裕 古屋 絢子 府川 尚弘 松田 光輝 川嶋 直
11:55	1:00	昼食休憩		
12:55	0:15	講師への質問に対する回答	講師宛の質問に、講師から回答 します。 ※質問は、6月25日（土）まで 受付します。	野口 貴裕 古屋 絢子 府川 尚弘 松田 光輝
13:10	0:45	1) 地域資源を旅行商品にするヒント 2) コロナ禍後の新たな旅のヒント	エコツーリズムの根幹には、地 域資源があります。それを発掘 し、活かし、持続可能な観光を 実現するには、どのようなプロ セスが求められるのでしょうか。 また、コロナ禍後は、どのよう にインバウンドに取り組めば良 いのでしょうか。講師からアドバ イスやヒントをいただきます。	野口 貴裕 古屋 絢子 府川 尚弘 松田 光輝 川嶋 直
13:55	0:10	休憩		
14:05	1:15	参加者同士の交流	ブレイクアウトルーム機能を使 って2地域（6～9人程）での対 話を行います。	野口 貴裕 古屋 絢子 府川 尚弘 松田 光輝 川嶋 直
15:20	0:15	次回までの課題の確認、個別カウ セリングの予約手法的確認		事務局
15:35		終了		

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

6. 自習期間（2）6月28日（火）～7月5日（火）

1) 自習期間（2）の講義動画は、下記のプレイリストからご覧いただけます。

令和4年度環境省インバウンド研修講義動画（2）プレイリスト

<https://youtube.com/playlist?list=>

2) 講義動画についてのご質問、ご不明な点がありましたら、7月5日（火）までに「質問フォーム」からご質問をお寄せください。インバウンド研修終了後に回答いたします。

質問フォーム <https://forms.gle/>

自習期間（2）講義動画一覧

所要時間	講義	内容	講師
約31分	講義9：ツアープログラムづくりのスキーム	企画をする上で押さえるポイントなど	古屋 絢子
約52分	講義10：ランドオペレーター・インバウンドエージェントの視点から	実際の商品がどのように作られ、プロモーションされ、お客様がやってくるのか、どんなプログラムにニーズがあるか、実際に誰にどのように売り込めば良いか、地域に期待すること、など	野口 貴裕

3) 自習期間(2)では「実習2：プログラム作り」として、各チームでプログラムの作成を行っていただきます。適宜、下記の個別カウンセリングを受けてください。

個別カウンセリング期間(6月29日(水)～6月30日(木))について

インバウンド研修の最終日は、チームごとに「訪日外国人観光客向けの、「訪日外国人観光客向けの、自然体験や歴史・文化・地域の暮らしをコンテンツにした旅行商品の企画」を発表していただきます。それに向けて、個別カウンセリング担当講師(野口講師、府川講師、古屋講師、松田講師、川嶋講師)とチームが、個別にご相談する時間を設けます。

オンライン集合日1日目終了後に、カウンセリングを希望する講師名と、チームで都合の良い日時を、「カウンセリング申し込みフォーム」を参考に、メールにて事務局までお知らせください。複数の講師を希望する際は希望順にお知らせください(ご希望に添えない場合もあります)

※切は6月28日(火)朝9時です。

なお、時間の調整は事務局を中心に進めさせていただきます。

各チーム、各講師1回までです。1セッションの時間は45分です。

ZoomのURLは調整の上、事務局からご連絡いたします。

カウンセリング申し込みフォーム

チーム名：

希望する講師：○○ ○○(第1希望)

希望する日時：(※候補日時はできるだけ多く、幅広にお願いします)

7. オンライン集合日（2）7月6日（水）の参加について

10:00 から開始いたします。当日は、下記の URL からアクセスください。

（会議会場には開始 15 分前の 9 : 45 からご入場可能です。）

円滑な講習運営のため、チームのメンバーは、原則一つの場所に集合し、1 台の機器からご参加ください。

会場 URL :

トピック: インバウンド研修 : オンライン集合日（2）

<https://us02web.zoom.us/>

ミーティング ID:

オンライン集合日（2）

時刻	所要時間	科目	内容	担当
9:45	0:15	受付開始		事務局
10:00	0:15	開会 今日の流れの確認		事務局
10:15	1:30	実習3：作成したプログラムの発表（前半）	相互評価（講師から&参加者も全員フィードバックを書く） 発表を受けての講師からのコメント 各チームの持ち時間：20分（発表15分、講師コメント5分）	野口 貴裕 古屋 絢子 府川 尚弘 松田 光輝 川嶋 直
11:45	1:00	昼食休憩		
12:45	0:50	実習3：作成したプログラムの発表（後半）	前半と同様	野口 貴裕 古屋 絢子 府川 尚弘 松田 光輝 川嶋 直
13:35	0:10	休憩		
13:45	0:20	実習3：フィードバックを読む&グループ内意見交換	参加地域ごとのブレイクアウトルームを作成	環境省担当官、講師、事務局はグループを回覧
14:05	0:20	ふりかえり	2～3のグループに分かれ意見交換&感想のシェア	環境省担当官、講師、事務局はグループを回覧
14:25	0:45	今後の活動に向けた、情報共有	・ここまでのQ&A ・講師が持つ最新情報を共有し、今後の取組について、アドバイスやヒントをいただきます。	野口 貴裕 古屋 絢子 府川 尚弘 松田 光輝 川嶋 直
15:10	0:10	アンケートの記入		事務局
15:20	0:20	閉講式&事務連絡		事務局
15:40		終了		

8. 感想やフィードバック、アンケートの記入について

- 1) 「実習3：作成したプログラム発表」では、他のチームの発表に対するフィードバックを全員で行います。フィードバックや感想は、各自のパソコン・スマートフォンなどから、下記のフォームにご記入し、送信してください。

プログラム発表（前半（午前）

<https://forms.gle/>

プログラム発表（後半（午後）

<https://forms.gle/>

上記の方法でのフィードバックが難しい場合は、お手持ちの紙等に手書きで

【所属チーム名とお名前、宛先チーム名、感想・評価】

を記載の上、カメラ等で撮っていただき、下記、事務局までメール添付でお送りください。

- 2) インバウンド研修が終了後、下記からアンケートのご記入をお願いいたします。
なお、オンラインでの回答が難しい場合は、事務局までお知らせ下さい。

<https://forms.gle/>

当日の連絡先

Aコース担当：公益社団法人日本環境教育フォーラム 担当：
〈電 話〉 〈メール〉

Bコース担当一般社団法人日本エコツーリズム協会 担当：
〈電 話〉 〈メール〉

9. フォローアップの実施について

11月初旬～2月下旬に、オンライン（Zoom）でフォローアップの開催を予定しています。インバウンド研修の成果物を地域で実施する、あるいは近い将来の実施に向けてアドバイスが欲しい場合にご活用ください。各チーム1回の開催です。

事務局が中心となり、事前に開催するかどうかのリクエストを伺います。その後、希望する講師とマッチングいたします。